

《 競 技 注 意 事 項 》

- 1 本記録会は2008年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項による。
- 2 競技場、競技順序を確認すること。
- 3 競技場が開場してない場合は、絶対に場内に入らないこと。**開門時間 7:15 (予定)**
- 4 プログラムの訂正は、速やかに庶務係に申し出ること。
- 5 招集時間は、競技開始30～15分前(トラック)・60分前(リレー)・60～40分前(フィールド)とする。
ただし、走高跳・棒高跳・男子円盤投の招集時間は60分前とする。
フィールド競技の練習は招集完了時間から競技場内で行う。
特に投てき練習は役員の指示に従って、試技順に競技場内で行う。
- 6 競技場は、全天候舗装である。トラック走路の厚さは13mm、フィールド助走路の厚さは18mmである。
走路の保全と競技者の安全のため、競技規則143条を厳守すること。
- 7 練習について。1・2日目(三ツ沢競技場)は補助競技場で行う。
競技に支障のない範囲でバックストレートを利用できる。(その際、係りの指示に従い事故には十分注意する。) 競技開始20分前まで競技場を練習に開放する。
- 8 競技場以外のいかなる場所でも投てき練習は禁止する。
- 9 競技運営上以下のように計時、計測距離を設定する。
男子 3000mSC (14分以内) 5000m (19分以内) 走幅跳 (5m00以上) 三段跳 (10m00以上)
女子 3000m (14分以内) 走幅跳 (3m50以上) 三段跳 (9m00以上)
- 10 トラック競技は、すべて電気計時とする。
- 11 3000m・5000mは特別ナンバーカードを使用するので招集の際に受け取り、競技終了直後フィニッシュ地点で返却する。
- 12 トラック競技では、腰ナンバーカードを使用するので招集の際に受け取り、競技終了直後フィニッシュ地点で返却する。腰ナンバーカードは右腰やや後方につけること。
- 13 跳躍競技のバーの上げ方は次の通りである。(荒天の場合は別途指示する。)

	種目	練習	バーの上げ方							
男	走高跳 (A)	1m45 又は 1m65	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m78	以後 3cm
	走高跳 (B)	1m65 又は 1m85	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	以後 3cm	
子	棒高跳 (A)	2m90 又は 3m60	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	4m10	4m15
	棒高跳 (B)	3m80 又は 4m70	4m20	4m25	以後 5cm					
女	走高跳 (A)	1m20 又は 1m35	3m90	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	4m50	4m55
	走高跳 (B)	1m35 又は 1m50	4m60	4m65	以後 5cm					
子	棒高跳	2m30 又は 3m00	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53	以後 3cm
			1m40	1m45	1m50	1m53	以後 3cm			
			2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00
			3m10	3m15	3m20	以後 5cm				

- 14 走幅跳・三段跳の助走路については、(A)・(C)は進行方向右側、(B)・(D)は進行方向左側とする。
- 15 男子三段跳の踏切板の位置。(A)は砂場より10m00、(B)は11m00、(C)・(D)は12m00の位置に設置する。女子三段跳の踏切板の位置は砂場より9m00の位置に設置する。
- 16 棒高跳のポール・砲丸・円盤・やり・ハンマーは各自持参したものを、各競技開始90～60分前までに検定をうけて使用する。
- 17 フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左上段から下へ、右上段から下へ順次、移動する。
- 18 フィールド競技(除く 棒高跳 走高跳)については3回試技とする。
- 19 その他
 - ・使用した観覧席は綺麗にし、ゴミは各団体で責任をもって処理する。特に、自分たちで持ち込んだダンボール紙等は必ず持ち帰る。ゴミは原則として持ち帰りとする。
 - ・更衣室は更衣のみに使用する。各団体の控室のように使用しない。
 - ・正面スタンドに、テント・横断幕を張らないこと。
 - ・貴重品の管理は各団体・個人で責任をもって行う。